

自然環境保護・保全事業

セブン-イレブンみどりの基金は設立以来、不法投棄ごみや経済優先の開発による自然破壊などの問題を抱えていることから日本の環境問題の縮図とされる「富士山」の環境問題に取り組んでいます。そしてその取り組みを日本全体の環境問題を解決する糸口にしたいと考えています。また、平成12年度から「日光杉並木保護活動」、平成14年度から「霧多布ナショナルトラスト活動」を引き続き支援しています。

富士山地域環境保全活動

環境パートナーシップ協定を締結したNPO法人富士山クラブとともに、富士山の環境保護・保全活動、環境学習、「富士山を考えるフォーラムin2005」の開催などを行いました。「24時間テレビ」チャリティー委員会が主催する「富士山地域一斉清掃」には、1000人を超すボランティアとともにセブン-イレブン社員も参加し、富士山地域の不法投棄ごみを回収しました。



7年目を迎える「富士山地域一斉清掃」には、セブン-イレブン社員30人が参加



「富士山を考えるフォーラムin2005」では、小池環境大臣とアルビニスト野口健さんをゲストコメンテーターに迎え、富士山に関する討論会を実施

霧多布ナショナルトラスト活動

認定NPO法人霧多布ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、北海道の霧多布湿原の保全活動を行っています。平成16年度は、霧多布湿原の民有地の中でも、川に近くタンチョウヅルの餌場としても重要な奥琵琶瀨地区(5.3ha)を取得し、野鳥公園として木道の整備などを地域の人々とともに行いました。



霧多布湿原は水鳥や湿原の保護保全を目的とした「ラムサール条約」の登録地です



民有地を買い取り、公園として整備した「奥琵琶瀨野鳥公園」

日光杉並木保護活動

セブン-イレブンみどりの基金は、世界的に貴重な文化財である日光杉並木街道を次の世代に引き継いでいくため、(財)日光杉並木保護財団とともに保護活動に取り組んでいます。平成16年度は昨年度に引き続き、周辺の環境悪化などにより弱った栃木県今市市内の例幣使街道沿いにある並木の杉の樹勢回復事業に取り組みました。また、杉並木を保全するために栃木県がスタートさせた「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、平成12年度より並木の杉1本のオーナーとして保護事業に取り組んでいます。



表土の流出で露出した並木杉の根を保護するため、木柵を作り土壌を施す工事を実施